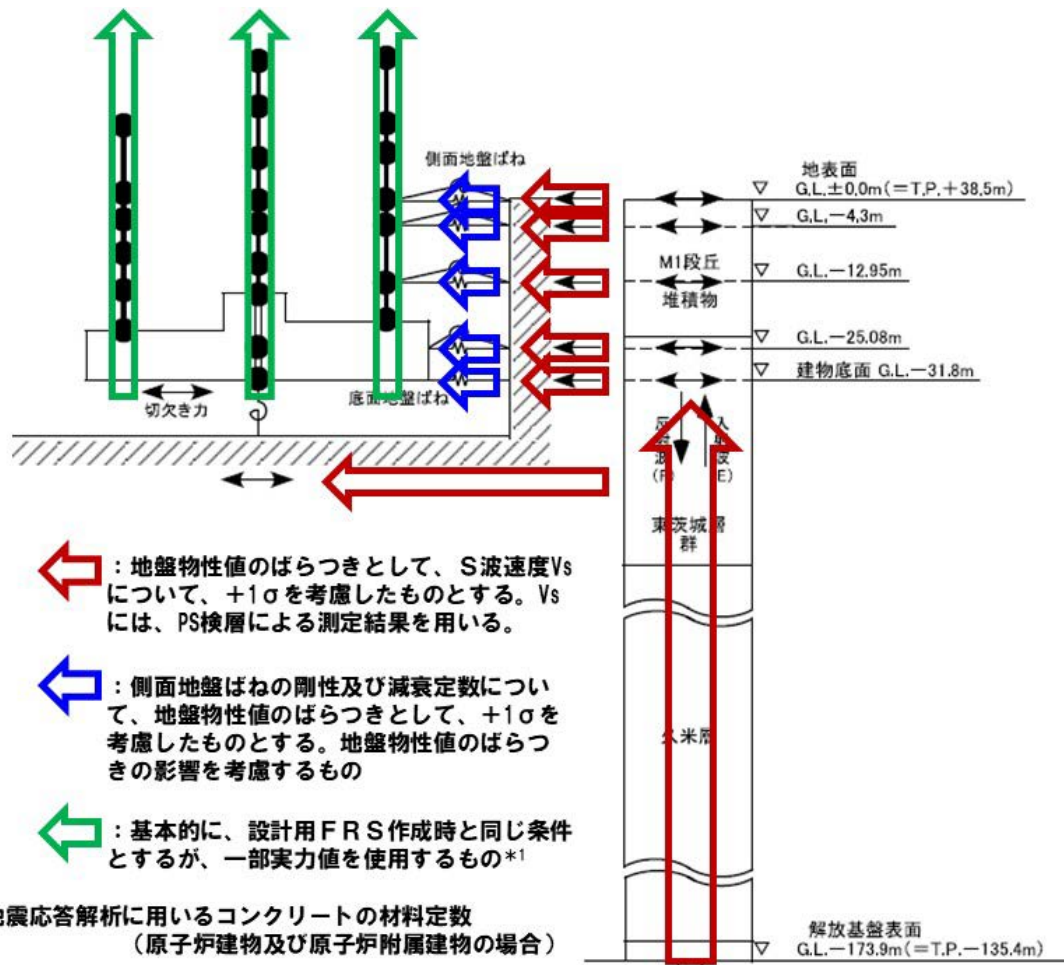


地盤物性値のばらつきの影響確認のための地震応答解析条件について

地盤物性値のばらつきに係る影響確認用床応答スペクトルの作成において、一部実力値ベースのパラメータを使用する。地震応答解析において、変更するパラメータ等を以下に示す。



設計基準強度 F_c (N/mm ²)	ヤング係数 E (N/mm ²)	ポアソン比 ν
22.1	2.21×10^4	0.20
↓ 1.4×22.1	↓ $1.12^{*2} \times 2.21 \times 10^4$	

*2: $(1.4F_c/60)^{1/3}$ と $(F_c/60)^{1/3}$ の比
 → コンクリートのヤング係数は、 $3.35 \times 10^4 \times (\gamma/24)^2 \times (F_c/60)^{1/3}$ で算出される(鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説)。 γ はコンクリートの気乾単位体積重量、 F_c はコンクリートの設計基準強度である。